日経アーキテクチュア
建材・設備メーカーランキング
2016

遮熱塗料部門
1位
読者を対象に、建材・設備メーカーの
製品採用意向等をアンケート調査
2016年11月24日号

ALES COOL

環境技術実証事業
ETV 環境省
http://www.env.go.jp/policy/etv/

高日射反射率塗料
アレスクール

JIS K 5675 2種 1級
弱溶剤形2液フッ素樹脂
アレスクール2液F

弱溶剤形1液アクリルシリコン樹脂
アレスクール1液Si

JIS K 5675 2種 2級
弱溶剤形2液アクリルシリコン樹脂
アレスクール2液Si

JIS K 5675 2種 3級
弱溶剤形2液ポリウレタン樹脂
アレスクール2液U

水系フッ素樹脂
アレスクール水性F

水系アクリルシリコン樹脂
アレスクール水性Si

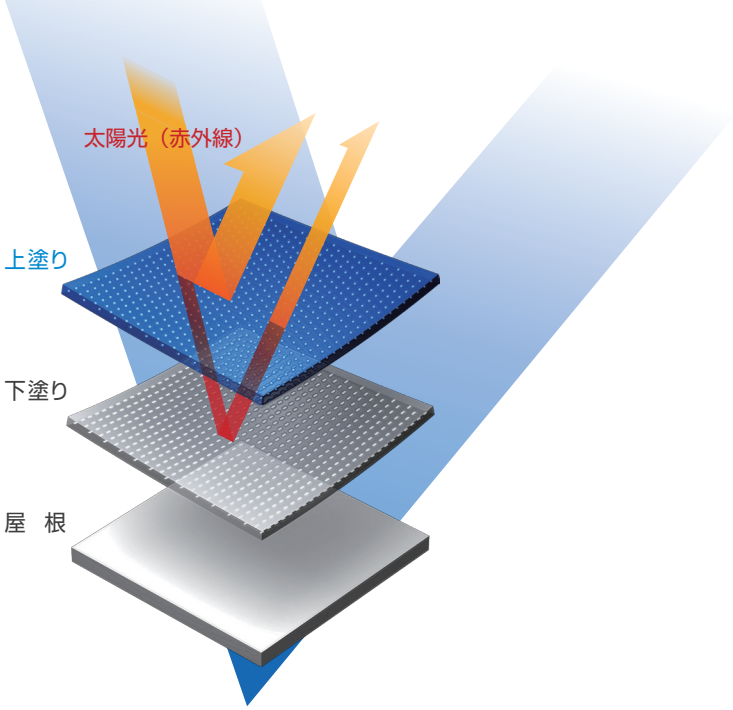
KANSAI PAINT

W Block

Wブロック効果で
最大−20℃の遮熱効果を発揮。

太陽光の中でも熱に変換されやすいのが赤外線。赤外線の光は、物体に当たって吸収されると分子振動が起こり、熱エネルギーに変換されます。アレスクールは、赤外線を反射させる特殊顔料をトップコート（上塗り）にもプライマー（下塗り）にも配合。上塗り部分を透過した一部の赤外線も、下塗りで反射（カバー）する「Wブロック効果」により、屋根の温度上昇を制御します。

※効果は測定結果であり、塗料の種類や色、被塗物の構造や材質等により異なります。

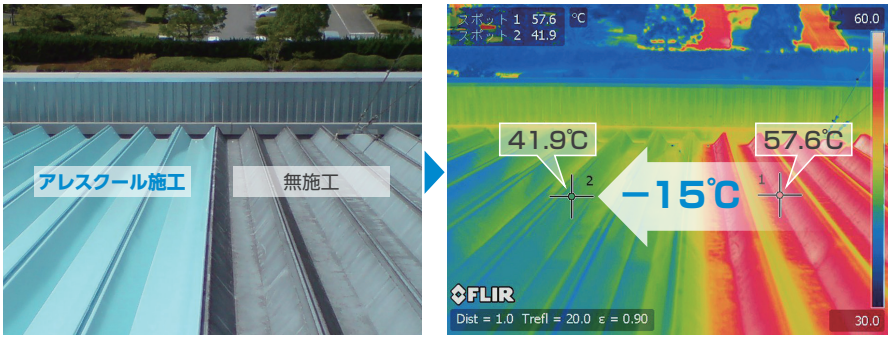


遮熱性能の効果を確認

夏季における既存塗膜との遮熱効果の差を確認。屋根表面温度をサーモグラフィーで測定し、結果約15℃の温度低減効果が確認できました。

また、室内温度については最大約5℃の室温低減効果が確認できました。

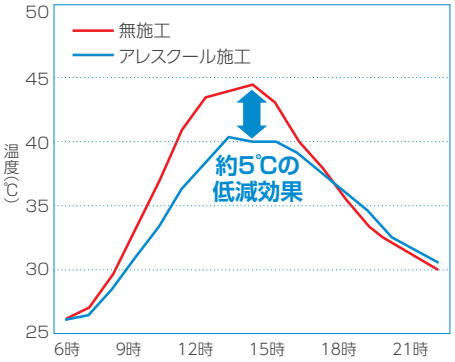
屋根表面温度



15℃の表面温度低減効果を確認した

場　所：兵庫県小野市 関西ペイント小野事業所
日　時：2011年8月18日（晴れ）13：30〜
気　温：32.2℃
グレー系の既存塗膜にアレスクール2液Siを塗装

室内温度　天井より約50〜100㎝下の温度を測定



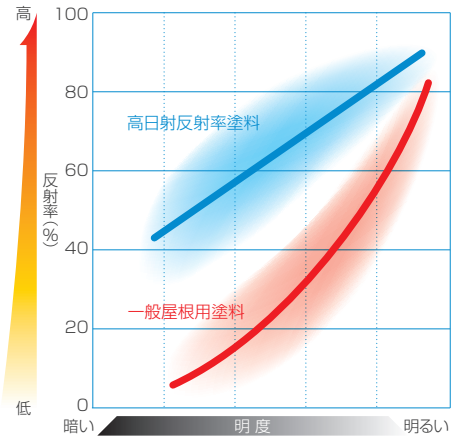
Solar Reflection by color

大切なのは色と熱の関係

アレスクールは特殊顔料を使用しているので、どの色でも、同じ色同士で比較すれば一般の塗料より効率よく赤外線を反射します。ですが、その反射率は色によって違いがあります。暗く濃い色ほど反射率は低くなり、明るく薄い色ほど反射率は高くなるのです。つまり、遮熱塗料といえども、黒系の遮熱塗料の場合、白系の一般塗料の方が遮熱性が高くなることがあります。それほど色選びは遮熱に大きく影響するので、色の濃度に考慮することも重要となります。そのためアレスクールでは、遮熱効果の高さがひと目で分かるようにCOOLレベルを表示しています。また、建物のイメージや周囲の景観に配慮することも大切です。大きな建物に対しては景観法が制定されている地域もありますので、お困りの際はぜひ弊社までご相談ください。

また、色選びの際には、建物のイメージや外壁色とのバランスや地域環境、景観法などさまざまな条件を考えると良いでしょう。

■ 塗膜の明度と日射反射率の関係



Cool Level

アレスクールの色選びの際は、
遮熱効果を示したCOOLレベルをご確認ください。

COOL　レベル	日射反射率※
❶ ❷ ❸ ❹ ❺	80%以上
❶ ❷ ❸ ❹	70%~80%
❶ ❷ ❸	60%~70%
❶ ❷	50%~60%
❶	40%~50%

※一般屋根用塗料との日射反射率の比較は、「塗膜の明度と日射反射率の関係」のグラフをご参照ください。

Simulation

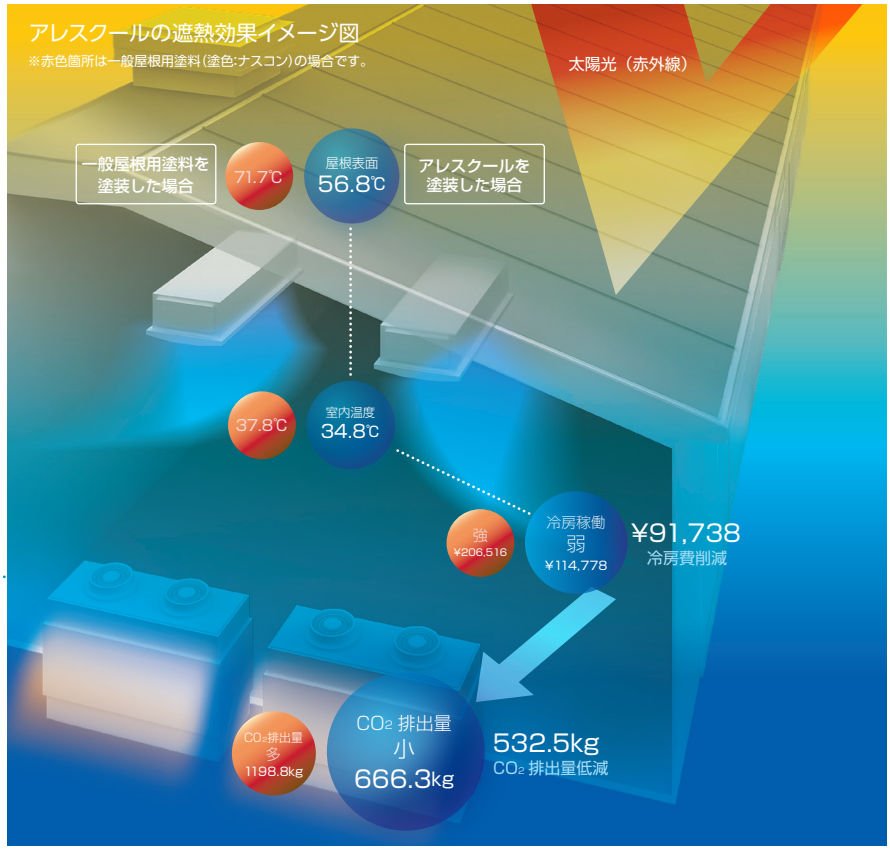
省エネ効果シミュレーションで分かりやすくCO_2削減量を計算。

省エネ効果シミュレーションとは、屋根を一般塗料からアレスクールに塗りかえた時に、屋根の表面温度や室内温度、またエアコンの消費電力がどれくらい下がるかを計算するものです。弊社シミュレーションは「SMASH ver.2※」を用いています。モデル的な建物に構造等の条件（素材の種類や色）を入力し、アレスクール塗装による省エネ効果を算出することで、数値化して確認することが可能です。

Data

塗色：ナスコン

- 屋根素材:鋼板0.4mm／ポリエチレンフォーム4mm
- 外壁素材:ALC120mm／石膏ボード12mm
- 屋根面積:300m²　・室内容積:2400m³
- 床面積:300m²
- 冷房稼動時間:8～17時（年中）、室温が28℃を超えた場合にのみエアコンが稼動すること。
- 設定温度:28℃
- 換気回数:夏場1回／H
- 地域:東京



工場イメージ図　※SMASH ver.2（財）建築環境・省エネルギー機構のシミュレーションソフト

Line Up

用途に合わせたラインナップ。

太陽光線や風雨、雪などの自然現象から屋根を守るルーフペイントには、特に耐久性の高い樹脂を原料に使用します。樹脂の種類によって使う材質や性能も異なるため、長期的な保護にはフッ素タイプ、臭気などの環境配慮には水性など、用途や条件に合った塗料を選択することが大切です。

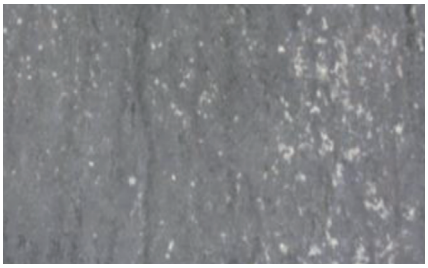
工程	商品名	系　統	容　量	適用素材
上塗り	アレスクール2液F	弱溶剤形2液フッ素樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）塗料	15kg（ベース：13.5kg 硬化剤：1.5kg）	トタン、鋼板、スレート、新生瓦など
	アレスクール1液Si	弱溶剤形1液アクリルシリコン樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）塗料	15kg	トタン、鋼板、スレート、新生瓦など
	アレスクール2液Si	弱溶剤形2液アクリルシリコン樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）塗料	15kg（ベース：13.5kg 硬化剤：1.5kg）	トタン、鋼板、スレート、新生瓦など
	アレスクール2液U	弱溶剤形2液ポリウレタン樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）塗料	15kg（ベース：13.5kg 硬化剤：1.5kg）	トタン、鋼板、スレート、新生瓦など
	アレスクール水性F 水性F	水系1液フッ素樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）塗料	15kg	スレート、新生瓦など
	アレスクール水性Si	水系1液アクリルシリコン樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）塗料	15kg	スレート、新生瓦など
下塗り	アレスクール プライマー	弱溶剤2液変性エポキシ樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱） 下塗り塗料	16kg（ベース：15.2kg 硬化剤：0.8kg）	トタン、鋼板など
	アレスクール メタルプライマー	弱溶剤1液変性エポキシ樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱） 下塗り塗料	16kg	トタン、鋼板など
	アレスクール シーラー	弱溶剤2液変性エポキシ樹脂 屋根用高日射反射率（遮熱）下塗り塗料	16kg（ベース：15.2kg 硬化剤：0.8kg）	スレート、新生瓦など

窯業系屋根材の適用範囲

アレスクール3工程仕様は、表面劣化度（中）までの窯業系屋根材に適用できます。
表層劣化が進行した表面劣化度（大）の場合、下塗りにヤネ強化プライマーEPO及びアレスダイナミックシーラーマイルドを使用し脆弱層を強化後、アレスクールシーラーを塗装して下さい。

表面劣化度（小）

目安　新設後、又は塗替え後10年程度経過した屋根材



塗膜の剥がれ等が部分的に認められるが、
下地は健全な状態。

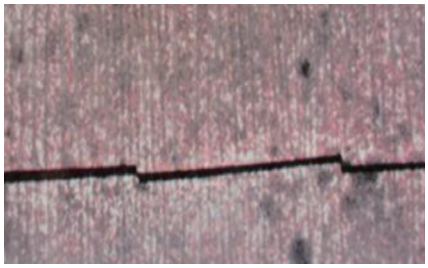
表面劣化度（中）

目安　新設後、又は塗替え後10～15年経過した屋根材

塗膜の剥がれは（小）より認められるが、
下地は健全な状態。

表面劣化度（大）

目安　新設後、又は塗替え後15年以上経過した屋根材



全体に塗膜の剥がれが見られ、下地表層は脆く、
吸込みが大きい状態。

〔注 意〕
表面劣化度（小）、（中）でガムテープによる付着試験で下地表層に及ぶ塗膜剥離が見られる場合は、下塗りにヤネ強化プライマーEPO及びアレスダイナミックシーラーマイルドを使用し脆弱層を強化後、アレスクールシーラーを塗装して下さい。

ホワイト 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

新クリーム 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

エッグシェル 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

リネンホワイト 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

ホワイトアッシュ 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

リリーホワイト 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

アイボリー 水性F
1 2 3 4 5
COOLレベル

マイルドグリーン
1 2 3 4 5
COOLレベル

シティーグレー 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

シルバーホワイト 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

ベージュ 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

セランドグリーン 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

スカイミスト 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

グレージュ 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

サンドベージュ 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

ミストグリーン 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

フォグブルー
1 2 3 4
COOLレベル

サンタンオレンジ 水性F
1 2 3 4
COOLレベル

グレー
1 2 3
COOLレベル

テラコッタ 水性F
1 2 3
COOLレベル

※◎印は材料費が割高になります。
※この色見本は紙に塗装していますので、実際の色･ツヤが異なる場合があります。 ※塗料の種類により同じ色相でも色･ツヤが異なる場合があります。 ※広い面積に塗られた場合、実際の色よりも多少明るく見える場合はあります。 ※この色見本の有効期限は印刷年月(印行裏面記載)より5年です。 ※色見本は経時劣化により変色していきますので、直射日光の当たる場所や高温多湿の場所には保管しないでください。 ※反射率数値は「JIS K 5602 塗膜の日射反射率の求め方」に準拠し、アレスクールプライマー／アレスクール2液Siで日射反射率(近赤外領域)を実測しています。 ※日射反射率は下地の状態や塗装仕様、施工条件などにより多少の増減が生じます。 ※アレスクール水性Fは「水性Fマーク 水性F」のある塗色のみ対応可能です。
※アレスクール水性Fの新スカイブルーは、本カタログ色見本と比べて若干濃い色の設定となります。

カルムブラウン 水性F
1 2 3
COOLレベル

アンティークブラウン 水性F
1 2 3
COOLレベル

アンバーブラウン 水性F
1 2 3
COOLレベル

ブリックレッド 水性F
1 2 3
COOLレベル

ウインドブルー 水性F
1 2 3
COOLレベル

カプリグリーン 水性F
1 2 3
COOLレベル

新スカイブルー 水性F
1 2 3
COOLレベル

ローヤルレッド ◎
1 2
COOLレベル

ナイスブルー 水性F
1 2
COOLレベル

ブルー 水性F
1 2
COOLレベル

チョコレート
1 2
COOLレベル

セピアブラウン 水性F
1 2
COOLレベル

アイビーグリーン 水性F
1 2
COOLレベル

フォレストグリーン
1 2
COOLレベル

コーヒーブラウン ◎
1
COOLレベル

チャコールブルー ◎
1
COOLレベル

ナスコン 水性F ◎
1
COOLレベル

カーボングレー
1
COOLレベル

ジェットブラック
1
COOLレベル

ネオブラック ◎
1
COOLレベル

【アレスクール2液F　JIS K 5675 2種1級　適合27色一覧】
ホワイト、ミストグリーン、サンタンオレンジ、グレー、ナスコン、ホワイトアッシュ、ローヤルレッド
テラコッタ、リネンホワイト、マイルドグリーン、シティーグレー、リリーホワイト、セランドグリーン
スカイミスト、アイボリー、エッグシェル、フォグブルー、グレージュ、シルバーホワイト、ブリックレッド
サンドベージュ、ナイスブルー、新スカイブルー、ベージュ、ウインドブルー、新クリーム、ブルー

■ 金属系屋根材（トタン屋根、鋼板屋根）標準塗り替え仕様

工　程		塗料名・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m²/回)	塗装方法	塗装間隔(23℃)	希釈剤(希釈率%)
素地調整		高圧洗浄、3種ケレン程度の処置を行い、劣化塗膜（膨れ・割れ・浮き）、ゴミ、汚れなどを入念に除去し乾燥した清浄な面とする。					
補修塗り		アレスクールプライマー	1	0.21	ハケ・ローラー・(エアレス)	8時間以上7日以内	塗料用シンナーA(0～5%)
		アレスクールメタルプライマー	1	0.13	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA(0～10%)
下塗り		アレスクールプライマー	1	0.21	ハケ・ローラー・(エアレス)	8時間以上7日以内	塗料用シンナーA(0～5%)
		アレスクールメタルプライマー	1	0.13	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA(0～10%)
上塗り	フッ素系の場合	アレスクール2液F	2	0.12	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA(0～10%)
	シリコン系の場合	アレスクール1液Si	2	0.12	ハケ・ローラー・(エアレス)	2時間以上7日以内	塗料用シンナーA(5～15%)

※補修塗りと下塗りは同じ塗料をご使用ください。

■ 新生瓦・波形スレート屋根材標準塗り替え仕様

工　程		塗料名・処置	塗装回数	標準所要量(kg/m²/回)	塗装方法	塗装間隔(23℃)	希釈剤(希釈率%)
素地調整		劣化した旧塗膜や表面の化粧層、砂、ホコリ、汚れ、コケなどは高圧水洗洗浄機やワイヤーブラシなどを用いて入念に除去してください。 その後、水分がなくなるまで十分に乾燥した清浄な面とする。					
下塗り		アレスクールシーラー	1	0.20～0.35	ハケ・ローラー・(エアレス)	8時間以上7日以内	塗料用シンナーA(0～5%)
上塗り	フッ素系の場合	アレスクール水性F	2	0.22	ハケ・ローラー・(エアレス)	2時間以上7日以内	上水(0～10%)
	シリコン系の場合	アレスクール水性Si	2	0.22	ハケ・ローラー・(エアレス)	2時間以上7日以内	上水(0～10%)
		アレスクール2液Si	2	0.22	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA(5～15%)
	ウレタン系の場合	アレスクール2液U	2	0.22	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA(5～15%)

※下地の劣化が激しい場合は下塗りにヤネ強化プライマーEPO及びアレスダイナミックシーラーマイルドをご使用ください。(詳細は「窯業系屋根材の適用範囲」を参照願います。)

下塗り	ヤネ強化プライマーEPO	1	0.30	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	無希釈
	アレスダイナミックシーラーマイルド (ベース／硬化剤=5／1)	1	0.1～0.2	ハケ・ローラー・(エアレス)	4時間以上7日以内	無希釈

※エアレス塗装も可能ですが、所要量はハケ・ローラーと異なります。エアレス塗装をする場合は、当社係員までお問合わせください。
※上記が標準仕様となりますが、「アレスクール2液F」「アレスクール1液Si」「アレスクール2液Si」「アレスクール2液U」は金属系・スレート系の双方に適用可能です。
その場合の所要量は個々の条件によって異なりますので各々の素材の数値をご参照ください。

施工上の注意事項

①遮熱性能は色合いによって異なります。
②標準所要量は一般的な条件での塗装作業に必要な塗料の参考値です。従って被塗物の形状や塗装条件などによって増減します。
③開缶時および容器に移し換えたときには色が分離したり、沈降している場合がありますので、使用前に十分攪拌してください。
④弱溶剤型の塗料を開缶した後に貯蔵する際は、水分に注意し、密封してから冷暗所に保管してください。
⑤高温（40℃以上）、低温（-5℃以下）での塗料保存は避けてください。
⑥錆が発生している箇所などはワイヤーブラシ・サンドペーパー等で完全に除去してください。
⑦下地調整が不十分な場合には、塗膜の膨れ・割れ・剥がれの原因となったり、光沢が出ないもしくは艶むらが発生するなど仕上がり不良が生じる恐れがあります。ホコリ・油・樹液などは塗装前に溶剤拭き・水洗い（温水）等で十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。特にトタンの折り曲げ部はホコリ・砂等が溜まりやすいので入念な清掃を行ってください。
⑧高圧洗浄を行なうと屋根が滑りやすくなりますので、足場には十分注意してください。
⑨洗浄後、新生瓦の破損、役物の釘浮き、シーリング切れなどのチェックを行い、補修が必要な場合には適切な処理を行ってください。
⑩低温・多湿時に塗装し、未乾燥状態で夜露等にあたるとツヤ引けが生じることがあります。
⑪強風時や降雨の予想される日の塗装、および気温が5℃以下、湿度85%以上となる日の塗装は避けてください。
⑫塗装後、降雨や結露などで白化した場合には目粗しを行って、再度塗装してください。
⑬昼夜の温度差が激しい時期は、結露によるツヤ引け現象が発生しやすいため、時間を考慮して塗装を行なってください。
⑭他の塗料との混合は絶対に避けてください。
⑮水性塗料を塗装する場合は、ナイロン刷毛を使用してください。獣毛刷毛は刷毛固まりを起す場合があります。
⑯弱溶剤系塗料の希釈は必ず塗料用シンナーAを使用してください。ただし、市販の塗料用シンナーの中には適合しないものもありますので注意してください。
⑰アレスクールプライマー、アレスクールシーラー、アレスクール2液F、アレスクール2液Si、アレスクール2液Uはベースと硬化剤がセットになっている2液型の塗料です。所定の割合（重量比）で混合して、十分攪拌した後にご使用ください。また、調合した塗料は、必ずその日のうちに使用してください。長時間経過した塗料を塗装した場合、塗膜性能が低下します。
⑱使用した塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
⑲品質が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と膜厚確保による施工を行なってください。特に上塗り1回塗りでは十分に発色、隠ぺいしない場合や、遮熱・塗膜性能が発揮されない場合がありますので必ず2回塗りを行い、標準塗装仕様（アレスクールシリーズ）を守ってください。
⑳過希釈による施工は、剥離・仕上がり不良・色分かれの原因となりますので所定の希釈率を厳守してください。
㉑塗装後、スケや塗り残しがある場合は、補修塗りを行うか再度全面塗装してください。
㉒有機溶剤を使用しているため施工・保管には十分注意してください。
㉓積雪の加重を最も受けやすい軒先部分、瓦棒の凸部、はぜ部にはこすりつけるように増し塗りを行ってください。
㉔エアレス塗装を行う場合は、塗装ミストの飛散防止のために十分な養生を行ってください。
㉕エアレス塗装を行ったのちにハケ・ローラーで補修塗りを行うと、補修箇所の色相が異なることがありますので、ハケなどで補修塗りを行う場合は事前に行なってから全体にエアレス塗装を行なってください。
㉖塩ビ鋼板の塗り替えでは、下塗り塗料に白色のエポマリンGX、またはエスコをご使用頂き、標準塗装仕様にて塗装してください。
㉗トタン素地露出部はアレスクールプライマーまたは、アレスクールメタルプライマーで補修塗りを行い、その後標準塗装仕様で塗装してください。
㉘スノーダクトのような勾配のほとんど無い屋根の塗り替えは、高い耐水性能を要求されるため必ず標準塗装仕様を遵守してください。また、没水部への適用は避けてください。
㉙下塗りにJIS K 5629 鉛酸カルシウム錆止め塗料は絶対に使用しないでください。
㉚ガルバニウム鋼板は素材自体が遮熱性と熱放射性に優れています。一般塗料に比べアレスクールは遮熱効果を発揮しますが、素材自体と比較した場合、それほど遮熱効果は期待できませんのでご注意ください。
㉛ガルバリウム鋼板屋根の塗り替えは下記の要領で行ってください。
ケース1［旧塗膜がある場合］：旧塗膜の付着が健全であることを確認の上、目粗しを行い、標準仕様で塗装してください。
ケース2［旧塗膜がない場合］：ガルバリウム鋼板表面には化学処理等が施されている場合があり、特に新設時には塗料の付着性が著しく劣ることがあります。（尚、化学処理は経年で流れ落ちるため、塗装適性は向上します。）そのため事前にアレスクールプライマーを試験塗装し、ガムテープで付着性が良好なことをご確認の上、塗装仕様書に基づき施工してください。付着が良くない場合は、使用しないでください。
㉜洋風コンクリート瓦（モニエル瓦など）、粘土瓦（いぶし瓦、釉薬瓦など）には塗装できませんので、ご注意ください。
㉝窯業系屋根材は金属系屋根材に比べ、素地への吸い込みが生じやすくなります。窯業系屋根材を塗装する際には、下地の状態を確認し、下塗りの吸い込みが著しい場合には、再度下塗りを塗装して表面が濡れ色になることを確認してください。
㉞窯業系屋根材に付随する金属部分については金属系屋根材の標準塗装仕様で塗装してください。
㉟シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。
㊱汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
㊲塗装後、水切り部で住宅用スレート（カラーベスト、コロニアルなど）の重なり部分が塗料で詰まった場合には、皮すきなどで必ず縁切りを行なってください。瓦の上下に隙間がないと通気が不十分になり、結露水などの影響により漏水や素材の腐食、塗膜剥離、膨れなどに繋がる恐れがあります。
㊳既に雨漏りのある場合は塗装を施しても直りません。雨漏りには構造上の原因を追求し、対策をとることが必要となりますのでご了承ください。
㊴アレスクールメタルプライマーは窯業系屋根材には塗装できませんので、ご注意ください。
㊵アレスクールプライマーはアレスクールメタルプライマーに比べ、高い反射率を有しています。
㊶アレスクールは、特殊な顔料を使用しているため、経年で若干ながら茶褐色の色味を帯びることがあります。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

予　防　策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。　本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対　　応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保　　管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃　　棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社　関西ペイントホームページ www.kansai.co.jp

北海道	TEL(0133)64-2424	FAX(0133)64-5757	東　京	TEL(03)5711-8905	FAX(03)5711-8935	中　国	TEL(082)262-7101	FAX(082)264-3285
東　北	TEL(022)287-2721	FAX(022)288-7073	中　部	TEL(052)262-0921	FAX(052)262-0981	四　国	TEL(0877)24-5484	FAX(0877)24-4950
北関東信越	TEL(028)637-8200	FAX(028)637-8223	大　阪	TEL(06)6203-5701	FAX(06)6203-5603	九　州	TEL(092)411-9901	FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(22年02月22刷PNA) カタログNo.672
頒布価格　1,500円(税込)